



# ももやまだより

7月号 no.51

日に日に暑さが増し、コロナと熱中症に気を付けなければならない時期が来ました。幸い香川県ではコロナの感染者は出ていませんが、今まで通り職員一同、気を抜かず感染防止に努めていきたいと思ひます。

今桃山保育所の畑で夏野菜の収穫が盛んです。きぐみ(2歳児)のお友だちが、大きなキュウリやトマト等、小さい手に一杯持って「えんちょうせんせい、とれたよ」と見せに来てくれます。先生と毎日一緒に水やりをして育てた野菜…2歳児の子どもたちにも特別な思いがあると思ひます。私も子どもたちの満足した笑顔を見ると、とても嬉しくなります。今年はスイカも植えています。おやつに早くスイカが出るのが楽しみだね。

園長

## あかぐみ

少し暑くなってきましたが、あかぐみの5人は元気な顔を見せてくれます。お友だちにも慣れ、お互いの顔を見たり、ちょっと触ろうとしたりと興味津々です。誰かがおもちゃを回転させ始めると「ぼくも」と一緒になってグルグル回し、誰かが絵本を広げると「わたしも」と絵本を出してきます。時には並んで窓の外を眺め、お友だちと楽しいことを見つけて遊ぶ姿がとても可愛らしいです。これから水あそびなど夏の遊びもしながら、元気よく夏を過ごしたいと思ひます。

## ももぐみ

ももぐみさんは毎日お花の水やりに挑戦しています。水の入ったジョウロを、こぼさないように両手でしっかりと持ちお花にそっとかけてくれます。「アサガオ咲いてるよ」「大きくなーれ」などと花の成長を子どもたちと一緒に喜んでいます。もうすぐ夏本番。水遊びを楽しみながら暑さを乗り切りたいと思ひます。

## きぐみ

きぐみでは夕方に歌の時間を作り、子どもたちの好きな歌をうたっています。最近では、『おばけなんてないさ』『かたつむり』『どんないろがすき』などを歌っています。おばけのポーズをしたり、かたつむりを手で作ったりしながら楽しそうに歌っています。かたつむりでは、手をグーとグーにして「かたつむりおうちに入ったよ」なんて声も聞こえてきます。子どもたちの好きな歌を見つけていけたらいいなと思ひています。



### 7月の行事予定

7日	七夕
14日	誕生日会
22日	消火訓練

### 7月うまれのおともだち









# ほけんだより

## 熱中症を予防しましょう

今年は、新型コロナウイルス感染予防での外出自粛により、体が熱さに慣れていく“暑熱順化”<sup>しよねつじゆんか</sup>が進んでいません。

体温調節が十分発達していない乳幼児は大人より熱中症にかかりやすいと言われています。徐々に暑さに体を慣らし、熱中症を予防しましょう。

### 熱中症の予防法

- ・こまめに水分補給をする
- ・通気性の良い、吸湿性、速乾性のある衣服を着用する
- ・室温の調整  
エアコンを利用する時、部屋の温度を調整、感染予防のため換気扇や窓を開放して換気しましょう
- ・日頃から健康管理  
日頃から体温測定、健康チェック

体調が悪い時や、暑い中での長時間の外出を避けることも熱中症予防には有効です。



# 給食だより

## そうめんの由来

七夕の行事食といえば『そうめん』なのをご存じですか？  
では、なぜ七夕にそうめんが食べられるようになったのでしょうか。

古代中国に「7月7日に死んだ帝の子が霊鬼神となって熱病を流行らせた。そこで、その子の好物だった索餅を供えて祀るようになったことから、7月7日に索餅を食べると1年間無病息災で過ごせる」という伝説があり、奈良時代に索餅が日本に伝えられたそうです。やがて、索餅はそうめんへと変化し、七夕にそうめんを食べるようになりました。

また、そうめんを天の川や織姫の織り糸に見立てて、七夕にそうめんを食べるといふ説もあります。



夏の暑い日には、冷やしたうどんやそうめんが簡単で食べやすいですね。  
これらの素材は太さで名称が変わるそうですよ。※JAS規格による分類、乾麺

- ・うどん・・・直径1.7mm以上3.8mm未満
- ・ひらめん・・・幅4.5mm以上厚さ2.0mm未満
- ・ひやむぎ・・・直径1.3mm以上1.7mm未満
- ・そうめん・・・直径1.3未満

素材が同じでも太さが変わるだけで食感や味が変化するのは面白いですね。  
夏真っ盛りですがしっかり食べて乗り切りましょう！



社会福祉法人 浩福会 桃山保育所  
〒763-0091 丸亀市川西町北 998-1  
TEL 0877-35-7068 FAX 0877-35-7066